

献血の重要性 広く啓発を

公明党
きむら はる え
木村 晴恵



町長 関係機関と連携し推進する



▲「献血」のご協力を

問 献血可能前の中学生に、献血の意義や理解を深める啓発の取り組みは進んでいるか。

答 現在の中学校学習指導要領では、献血は対象外であるが、意義・現状などを学習することは有益であり、関係機関とも連携し、普及啓発ポスターなどを活用し、啓発を進めていく考えである。

問 将来にわたって安定的に血液を確保するため、広く町内全域での啓発に取り組みべきである。そのために「献血推進計画」を策定すべきである。

問 「献血推進計画」の策定は行っていないが、年に3回役場で献血を行ったり、広報活動や担当者の研修派遣など、献血の推進を図っており、今後もホームページ、LINEなどでも広く住民に対し協力を呼び掛ける。

問 献血の大切さは、今後社会的な大きな課題にもなってくると思う。その重大性について、町として何かのイベントの時に献血車に来てもらうなり、講演や研修を入れるなどの考えは。

答 献血事業については、日本赤十字社や兵庫県赤十字血液センター、ボランティア団体などと協力して進めている。ご提言もいただいたので、今後できるのであれば、日本赤十字社などとも連携して、町のイベント時に啓発できるように考えていく。

その他の質問
▼ため池や雨水幹線による水災害の軽減は

歩道の幅・勾配などは

チーム新星
ほそだ たけお
細田 武男



町長 順次改修していく



▲勾配が連続する歩道

問 以前の基準で施工された歩道では、高齢者や視覚障がい者、車いす利用者など全ての歩行者にとって安全で円滑な移動が可能とはいえないが、この点について町の考えは。

答 重点整備地区から改修しているが、工事費が高額になることから、それ以外の場所では段差解消など、可能な限り歩行者の安全かつ円滑な通行の確保に努めている。

町長 相談しやすい環境を調整する

問 自分の地区のゴミステーションが遠く、年齢とともにその距離が負担となっている住民が、ここに引っ越す。今後増えていくこの問題の判断を各自治会にのみ任せるには無理が出てくるが、町の考えは。

答 自治会区域を超えたゴミステーションへのごみ出しについては、双方の自治会で協議していただき、地域でより良い利用方法についてご検討いただいている。自治会間でも気軽に相談できるよう、関係課との調整を図り、コミセンや全自治会長の会合の場などで行政側から発信し、協働のまちづくりを進めていく。

その他の質問
▼歩道の目の粗いグレーチングは
▼サテライト・居場所づくりは
▼買い物・通院など住民の移動手段は

熱中症予防対策は

政風会
おかだ ちかこ
岡田 千賀子



町長 暑さ指数を基準に対応する



▲熱中症対策用のテントでひとやすみ

問 教育現場における熱中症予防対策は。

答 「熱中症事故防止のための対応等について」に則り、体育の授業や部活動、自然学校では、暑さ指数計を複数の教員などで確認している。全小・中学校に配備しているミストシャワーも積極的に活用している。

問 運動会や体育大会での熱中症対策は。

答 児童生徒用テントの設置を考えている。

問 子どもたちから、飲み干した水筒に冷水を補充できる給水器の設置を望む声を聴くが対応は。

問 現状では、職員室でお茶などの補充を行っているが、給水器の設置に向け検討を進める。

問 夏季の学童保育における熱中症対策は。

答 環境省「熱中症予防情報サイト」の明石地点での暑さ指数を基準に、朝7時で33以上の場合は、臨時休業として保護者に連絡用メールなどで通知することとしている。

問 夏休みなどに安全な環境の中で学べる行事などの情報提供は。

答 各コミセン行事や学習教室などは、毎月発行されるコミセンだよりに掲載している。令和5年度は試行的に関係各課で連携し、各施設における行事予定を集約した一覧表をホームページに掲載し、学校園に配布した。

その他の質問
▼気候変動への取り組みは
▼ごみ屋敷対策を
▼ため池の有効活用は

活動を守るための予算は

チーム新星
かんき ふみひさ
神吉 史久



教育次長 何らかの形で対応は必要



▲外部指導者の指導を受けるソフトテニス部

問 子どもファーストを標榜する播磨町の部活動地域移行において、経済的負担の増加により、参加できない子どもが、あつてはならない。地域移行後の受益者負担の考えは。

答 地域移行により、部活動の形態が学校教育から社会教育へ転換する。社会教育の費用は原則受益者負担と考えるが、移行期間の令和10年度までは、スポーツクラブ21はりまの入会金・年会費を全額免除し、各クラブの会費は極力低く設定するよう指導している。

問 地域移行の完了後も、播磨町が子どもたちの活動を守るための予算を考える必要があるのでは。

答 移行完了後も、何らかの形で対応していく必要があると考えている。

問 開始時間が遅くなる、放課後改めて出かける必要や、他の活動との兼ね合いなども懸念される。活動時間の考えは。

答 他の習い事などの兼ね合いの他、自転車置き場の確保なども課題となる。今後の検討事項として認識している。

自主避難所での物資提供は
町長 物資は避難者が準備し持参を

問 自主避難所開設時に、食事や寝具など各自での準備を求めている。必要に応じて災害備蓄などを活用し、避難しやすい対応を行えないか。

答 地域防災計画で、自主避難所では、飲料水・生活必需品などは供与せず、避難者が準備し持参すると定めている。